

第1回 JR宇都宮駅西口周辺地区整備懇談会

(1) 実施概要

実施日：平成24年8月28日 10時00分～11時40分

実施場所：宇都宮市役所本庁舎14B会議室

参加者：【委員】

学識経験者：森本委員（宇都宮大学大学院教授）、山島委員（宇都宮共和大学教授）、和田委員（宇都宮共和大学教授）

関係団体：市村委員（JR宇都宮駅西口地区まちづくり協議会）、大森委員（東日本旅客鉄道株式会社大宮支社企画室）、柿沼委員（特定非営利活動法人 宇都宮まちづくり推進機構）、齋藤委員（JR宇都宮駅西口構内バス協議会）、保坂委員（JR宇都宮駅西口構内タクシー協議会）、美野輪義光委員（築瀬地域まちづくり推進協議会）、渡辺委員（宇都宮商工会議所）
行政機関：美野輪茂委員（栃木県総合政策部地域振興課）

公募委員：河原委員

【事務局】宇都宮市：総合政策部（部長、次長）、地域政策室室長、中心市街地活性化推進室室長、他4名

配布資料：第1回JR宇都宮駅西口周辺地区整備懇談会 次第

JR宇都宮駅西口周辺地区整備懇談会委員 名簿

資料1 JR宇都宮駅西口周辺地区の現況及び課題について

資料1-1 地区の現況及び課題に関するデータ

資料2 市民アンケート及び民間事業者ヒアリング調査について

参考資料1 JR宇都宮駅西口周辺地区整備懇談会 設置要領

参考資料2 JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本構想の策定について

次第：1 開会

2 あいさつ

3 JR宇都宮駅西口周辺地区整備懇談会について

4 会長の選任について

5 議事

(1) JR宇都宮駅西口周辺地区の現況及び課題について

(2) その他

・市民アンケート及び民間事業者ヒアリング調査について

6 その他

7 閉会

(2) 議題

1) JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本構想の策定【参考資料2】について

〈森本委員〉

- ・フローチャートを見ると、交通の話が見えづらい。例えば地区整備方針の中に“土地利用と交通の総合連携を取る”という内容を入れていただきたい。議論した土地利用について、きちんと交通処理ができるかどうかチェックすべき。例えば大規模低未利用地に大規模施設を造った場合、現状以上に渋滞が発生することになるであろう。
- ・全ての使い手にとって使いやすい空間を作るのは難しいため、何らかの優先順位をつける必要がある。「歩いて楽しい街」と明言しているのだから、第一に歩行者空間の確保と歩行者動線を考えた上で、バス、タクシー等公共交通について考え、次に個別交通である自転車、自動車について考えるという流れになるだろう。駅前の交通計画の基本方針が必要であり、機能だけの配置論とはならないであろう。

2) JR宇都宮駅西口周辺地区の現況及び課題【資料1, 資料1-1】について

〈齋藤委員〉

- ・バス利用者の動線が食い違っている気がする。駅のエレベーターやエスカレーターの適正な配置がなされていないため、乗り換え時に人が乗り換えの動線を無視した動きをしてしまうように思う。駅前広場だけを考えるのではなく、鉄道事業者と連携した整備を考えても良いのではないかと。JRについて言えば、改札がもっと北にあった方が良いのではないかと。また、東西自由通路も折れ曲がらず真っ直ぐ行けるようにしたら良いのではないかと思う。難しいとは思いますが、行政も費用負担がある程度行った上で、駅東西の連携を図り、県外の人にとっても使いやすい空間にしていけると良いと思う。

〈大森委員〉

- ・駅の機能と駅周辺の配置の整合が取れていないように感じる。確かに、現状の改札は南側に位置しており、タクシープールが遠い。費用が非常にかかることなので、簡単には課題解消はできないと思うが、これらが少しでも良くなるように、西口の駅前広場も含めたマッチングをうまく図る努力はできるだろう。

〈山島会長〉

- ・駅構内の移動に関しては、物理的な長さよりも、心理的な長さを変えられると良いと思う。バスについては、どのバスに乗ったらよいかわからず右往左往してしまう人が多いようだ。

〈河原委員〉

- ・駅の中とペDESTリアンデッキの配置に問題があるのではないかと思う。他県から来た人にバスの乗り場を説明しづらい。

〈渡辺委員〉

- ・何年程度先を見据えた計画を作る予定なのか。

〈事務局〉

- ・今回の対象区域は9ヘクタールを指定しているが、北地区の低未利用地の活用、駅前広場の整備、駅前の市街地再開発事業の大きく3つの要素の検討が中心となり、それぞれの事業期間は異なるものと思われ、中・長期の観点で基本構想の策定を行っていきたい。基本構想策定後は、基本計画、整備計画、事業計画をそれぞれ作成していくことになるので、10年もしくはそれ以上先を見据えて

計画を作成していくことになるとうご理解いただきたい。

〈渡辺委員〉

- ・連続立体交差事業の可能性について、考慮に入れているのか。

〈事務局〉

- ・連続立体交差事業については基本的にはここでは想定していない。これまでに、東西交通の円滑化については、道路の立体化等に取り組んできたところであり、その経緯や考え方については、必要であれば、再確認という意味合いで次回の懇談会でご説明させていただきたい。

〈渡辺委員〉

- ・駅の東西を大通りで結ぶという話がかつて議論されたが、ここでは議論するのか。通過交通を発生させてしまうので、個人的には難しいと考えている。

〈事務局〉

- ・過去の調査等において、技術的、費用的に難しいと検証された経緯があり、本計画では基本的には想定しない予定である。

〈渡辺委員〉

- ・LRTについては、導入を前提とした議論を行うのか、それとも導入は考えないのか。

〈事務局〉

- ・事務局としては、市内全域の交通ネットワークの構築を円滑に進めるために、LRT等の東西基幹公共交通の導入を前提として、柔軟に対応できるように進めていくことを考えている。

〈渡辺委員〉

- ・本計画では、JR宇都宮駅の西口広場をどうするのかという議論が最重要だと思うが、現状のままの規模でよいのか、それとも広げることを考えているのか。もう少しだけ広げた方が良いのではないか。大胆なことを言えば、例えば一体的なペDESTリアンデッキの上に建物を建てて、田川まで広がる駅前広場とすることが考えられる。

〈事務局〉

- ・駅前広場の規模を広げるのか、それとも現状の規模のままうまく活用していくのか、あるいはアメニティという観点で県都の玄関口にふさわしい景観を検討していくべきなのか。懇談会等での話し合い等も踏まえて検討していきたい。

〈和田委員〉

- ・当然、大規模公共事業になると思うが、この事業によって政策的な効果が出るかどうかは他の事業との関連性が重要である。政策的な効果を考えると、東口との関係をどうするのかも大変重要である。宇都宮市が、(ネットワーク型コンパクトシティの中心核として)中心市街地を考え、そこを集中的に発展させ、人々を集住させようと考えているならば、この事業の優先順位は非常に高いと思う。
- ・宇都宮市は今まで「財政健全化」を図って一生懸命予算の削減に取り組んできたことはよく知っているが、政策体系全体から考えて、政策的効果を絶対出さなければならないものについては、それ相応の財政資金を投入するのはいたしかたないことだと思う。なまじ、短期の財政的数値にこだわって、長期的な政策効果が出ない中途半端な整備計画というのはよくないと思う。財政規律が重要であることも十分わかっているが、この事業は将来の市民のためにやっているものである。本事業が将来の市民に感謝され・十分評価されるものであるのなら、将来の人たちも当然たくさん利用するのであるから、その人たちに負担してもらうのは当然である。地方債等の発行をしながら、将来

の人たちにも一部負担をしてもらいながら、政策的な効果がちゃんと出るような整備をしていかなければならないと思う。また、一旦進め始めた公共事業を途中で中止すると、財政支出がゆがんでしまうので注意が必要である。そういうことが起こらないよう、しっかりした整備計画をつくっていく必要があると思う。他の事業とのバランス、他の政策、事務事業等とのバランスももちろん重要であるが、すべてに配慮できるとはかぎらない。予算は限られているので、優先順位の決定が非常に重要である。西口は宇都宮市の中でも集中的に事業を行う優先順位の高い地区であると思う。

〈市村委員〉

- ・西口周辺地区を見てみると、建物の老朽化が進行しており、50万都市にふさわしい駅前と言えない。また、土日は交通事情が悪い。ララスクエア前の違法駐輪対策が厳しくなったため、ララスクエア前に違法駐輪が出来なくなった代わりに、周辺の違法駐輪が増えてしまった。それらの対応も必要になる。公共交通を利用する人の中には、自転車を利用される人も多いのだから、駅前広場等を利用して、駐輪場を設置することについて前向きな検討が必要ではないかという意見もあった。

〈柿沼委員〉

- ・東西の関連をどう考えるかが重要である。西口は、大規模商業施設を建てる方向で考えると良いのではない。過去にペDESTリアンデッキが田川の方にまで伸びる構想があったが、それが実現していれば現在の問題は発生しなかったのではない。大規模施設の話が出たが、駅前広場をどう考えるのかは重要な議論だ。それと同時に、駅前広場や商業施設を造る際には、景観・アメニティを十分考えるべきである。現状では、駅前において、消費者金融等の大型看板が目につくが、県都にふさわしい景観にする必要があると考えている。

〈保坂委員〉

- ・区域内について、全体を一から考え直すのか、それとも現況を一部利用するのか。課題が整理済みの部分と未整理の部分に分けて、どの部分を中心に懇談会で検討するのか、事務局がある程度絞り込む必要があるだろう。
- ・「街の活性化」を目的として、西口の開発を行うのではない。街の活性化のためには経済的なメリットがある必要がある。街の活性化の中で特に経済の活性化に重点を置くのであれば、集客力アップが議論の中心になるだろう。これまで駅前地区は公共交通が客を連れてくるという考えだったと思うが、魅力的な店等、何か目的があれば、新しい客が訪れるという考えもある。店側の視点に立つのであれば、魅力的な出店地にするにはどうしたら良いかという視点も必要だ。
- ・次の課題につなげるためにも、これまでの取組でうまくいった理由、うまくいかなかった理由を冷静に分析・評価する必要があると考える。

〈山島会長〉

- ・これまでの取組みの評価等は、重要な話であり次回以降も検討していく。街の活性化だけでなく、宇都宮市の玄関口に位置する地区であることから市全体の顔としていかに良くしていくのかという議論も必要だろう。

〈美野輪（義）委員〉

- ・西口の一利用者として、自動車の渋滞が一番気になる。大きな駐車場があるにも関わらずララスクエアの前で乗降を行っており、渋滞している。交通の便を良く考えていただきたい。

〈美野輪（茂）委員〉

- ・どの時点を目標として計画を進めていくのかが、地元の人にとっては重要である。前提として、整備基本構想でどのようなことを決めていくのか、地域にきちんと理解していただく必要がある。

- ・資料では、ハード面を中心に検討していく印象だ。JR宇都宮駅西口周辺地区は、宇都宮市の中心街への入口であり、中心市街地活性化との関連性が非常に高い。その意味で、ハード面だけでなく、交流人口をいかに増やしていくのか、経済的に成り立つようにするにはどうしたら良いのか等ソフト面での議論も重要だ。ソフト面での対応をするためには、人が集まる広場等のスペースが必要であると思う。そのようなことを念頭に置きながら、ハードとソフトを総合的に考えて、JR宇都宮駅西口周辺地区から中心市街地に人が来てもらうような、波及効果が期待できるようにしたい。

〈齋藤委員〉

- ・駅前広場を一から考え直すのか否かが気になる。

〈事務局〉

- ・費用対効果という視点もある。基本的には現在の施設配置をベースとしつつも、今後必要とされる都市機能の集積、交通動線を検討しながら、必要に応じて変更すべきところは変更しながら進めていきたいと考えている。

〈山島会長〉

- ・現状を元に考えるが、懇談会、意見によっては方向性が変わるということだろう。

〈森本委員〉

- ・現在の算定式を用いて、現状の駅前広場の交通空間の規模が適正かどうかを検証する必要がある。その上で今後どうするか検討すべきではないか。

〈山島会長〉

- ・東口も関わるため、この場だけで駅前広場の規模を決定するのは難しいだろうが、規模の算定式が変化していることもあり、再検討が必要である。現状の広場の規模や形について、現在の算定式での算出結果を次回出していただければと思う。大谷石の餃子像と蛙像がなぜペデストリアンデッキの下にあるのかという点も解せない。

〈和田委員〉

- ・整備計画は現状を前提とするのかもしれないが、将来どうしたいか、宇都宮市全体の中で将来この地区をどう位置づけていきたいのかという視点が大切である。特にこの地区は、人を集める中心核となる部分となるので、人の流れ、人の動きの変化等など将来を見据えたうえで、今後この地区の整備をどの程度優先的に行っていくかをきちんと考えてほしい。

〈河原委員〉

- ・ネットワーク型コンパクトシティという宇都宮市の方向性は、これまでの都市計画の取り組み方とは全く異なる新しいイメージであり、これらのイメージを達成するためには新しい計画手法が必要だと思う。今が駅前広場整備の見直しの時期なのではないか。高度化、効率化すれば良いというのではなく、要素を抽出するような、時代に合った新しい方法が必要になってくるのではないか。
- ・大通り及び田川沿いの交通を市としてどう考えていくかが西口にとって重要である。通過交通排除が市の方針の1つとしてあるようだが、宇都宮市にどういった計画があるのかが、宇都宮駅西口につながってくる。どのような理論ができるのかで、宇都宮市の全国での位置づけも変わるのではないか。

3) 市民アンケート及び民間事業者ヒアリング調査【資料2】について

〈大森委員〉

- ・県外から宇都宮市に来る人も多いと思うが、県外の人ニーズをどうやって把握するのか。今回の

アンケートでは宇都宮市民を対象としているが、どうしたらより良い結果が得られるだろうか。

〈事務局〉

- ・昨年度、駅利用者を対象にアンケート調査を実施しているため、県外の人意見はこのアンケート結果を用いる予定である。

〈山島会長〉

- ・今回は双方の結果を提示して頂きたい。

4) その他

〈森本委員〉

- ・懇談会の資料をホームページで外部に公表し、意見を募ると興味のある方の意見が得られて良いと思う。

〈事務局〉

- ・本懇談会で出た資料と議事録は、宇都宮市のホームページに公開させていただく。意見が得られた場合には、懇談会の場で紹介させていただければと思う。

〈渡辺委員〉

- ・今回は、駅の東口も含めた駅を中心とした図、東西の分担の資料をつけていただければと思う。

〈齋藤委員〉

- ・今回は、関係者に配布したいので会議の資料を早めに配布してほしい。

〈事務局〉

- ・今回は早めに資料を配布する。

(3) 連絡事項、次回開催予定

〈事務局〉

- ・会議録は事務局で作成後、後日委員に配布する。内容を確認いただき、修正した後、本日の資料と併せて市のホームページに掲載する。
- ・次回懇談会開催予定：11/29（木）14時～

以上